

まちづくり懇話会で寄せられた意見（要約）

北馬城地区

|   | 意見など  | 回答   |
|---|---|--|
| 1 | <p>北馬城地区にはJR宇佐駅があります。宇佐駅は宇佐神宮を観光するための玄関駅として市から位置づけられ配慮していただいておりますが、現状は旧態依然のままです。駅の利用者は路線橋の階段を上り下りしなければなりません。高齢の方はそれが苦痛で何とかならないものかと言っています。柳ヶ浦駅のように宇佐駅にもエレベーターを設置してもらえるように、JRに働きかけていただけないでしょうか。</p> | <p>柳ヶ浦駅には長年の要望が実り、エレベーターの設置が実現しました。宇佐駅につきましても、県などと一緒に特急の停車も含めてJRに要望は行っています。しかし、JRに事業を採択していただくためには、一日あたりの乗降者が3,000人程度あることが1つの基準となっています。そのため、現在の利用状況では基準をクリアするためのハードルが高く、今すぐに良い返事をいただくのは厳しいと考えています。</p> <p>先程ご意見をいただきましたとおり、市としましても宇佐駅は宇佐神宮を観光するための玄関口であると考えています。観光客を迎えるため、列車が発着する時のメロディー放送などについても取り組み、実現もしています。これからも宇佐駅を盛り上げるため、色々な働きかけを行っていきたくと考えています。</p> |
| 2 | <p>地元の方は地域が衰退しているので、やはり宇佐駅を中心としたまちづくりを望んでいます。しかし、柳ヶ浦駅の周辺整備は市の計画にあるのですが、宇佐駅周辺を整備する計画はありません。北馬地区の住民としては非常に寂しく感じています。北馬城地域の将来像をどのようにイメージしているのか聞かせてください。</p>  | <p>宇佐駅の周辺について、具体的に何か行うという計画は現在のところありません。先般、北馬城地区の区長さん方から連名で、地域の活性化のため「道の駅」をつくってもらいたいという要望をいただきました。「道の駅」については宇佐商工会議所からも、つくってもらいたいという要望もいただいております。</p> <p>現時点では具体的なお話をすることはできませんが、市としましても四日市地区や宇佐地区などのまちづくりを行って来ましたので、北馬城地区についても今後何らかの取り組みを行っていきたくと考えています。</p>   |
|   | <p>北馬城地区はご存じのように、日足の谷とこの西屋敷の谷に分かれています。そして、江戸時代からこの2つの谷を結びたいという願望があります。そのことは、歴然と日足の資料に残っています。日足の財閥の方が自分で開拓して金屋まで道路を作った記録が残っています。今から20年程前になりますが、昔からの願望である2つの谷をどう</p>                                | <p>広域農道宇佐は、三光の清水トンネルから三和酒類のところを通って宇佐神宮の裏まで、こちらの山の方は、立石から高田へ向かう道路が若干完成しています。先程のご意見のとおり、相当前の計画です。20年程前に農林省の補助事業で実施する計画でしたが、現状ではミカン園もほとんどなくなっています。最終的にどのようにするのか県などと検討していますが、国との予算折衝が行われる中では費用対効果の点で非常に厳しいとも指摘されています。現時</p>  |

|   |  |   |
|---|--|---|
| 3 | <p>にかして結ぼうという構想が計画されました。宇佐インターからこの谷を通過して、竹田津のフェリー乗り場まで結ぶという大きな構想です。</p> <p>北馬城地区には当時土木関係の仕事に携わる人が多くいましたので、地図上に路線を引いて測量も行いました。土木課にはその当時の地図が残っているはずですが、北馬城地区では日足とこちら側の谷との交流が全然ありません。今の技術を使えば簡単にできると思いますので検討してもらえないでしょうか。</p>   | <p>点では中断していますので、様々な課題をどうクリアすれば事業を続けていくことができるのか非常に苦慮しているところです。</p>   |
| 4 | <p>宇佐駅の裏側を開発して豊後高田とか国東半島からも宇佐駅の方に来て、北馬城が栄えるようにする計画がありました。高田から長洲の方に行く道の途中に川があり、つきあたりになっています。あれが本当はまっすぐ道路に出るはずだったらしいのですが、途中で切れています。</p> <p>道路をつくることができるように測量も全部済んでいたようなのですが、頓挫したみたいです。地域の人もすごく残念がっていました。宇佐駅の裏が開発できると、さっき意見のあったエレベーターなどがなくても、向こうから乗る人だったら線路の向こうからくればいいし、表から乗る人は上り線と下り線で別々に利用すればエレベーターを設置する必要もなくなるのではないのでしょうか。</p> | <p>ご意見は、広域農道に関する計画だと思います。広域農道の整備につきましては、国や県それから地元のみなさんとの調整、色々難しい面があつてなかなか前に進まなかったというのが実情です。宇佐神宮の裏からこちら側については、県と市で色々調整を行っています。どのような形になるかは分かりませんが、まだ事業が終わったということではありません。今、国にどういう説明を行えばいいのか、どうしたら費用対効果が上がるのか検討しています。道路整備は補助金で行われますので、国も非常に予算の査定が厳しくなっています。それをどうクリアして事業を続けていくのか、非常に今苦慮しています。今後も県と十分に相談しながら、何か良い方向性を見出していきたいと考えています。</p> |
| 5 | <p>私の妹が大分市に住んでいます。大分市ではどこまで行っても、とにかく乗ったら降りるまで100円だそうです。1区間でも、終点まで乗っても100円なので非常に便利が良いと言っていました。今、高齢者が交通事故を起こす確率が高いということを、ニュースなどで報道されています。コミュニティバスをもう少し便利に使えるようにして、交通の便がよくなれば、運転免許証の返納も考えるのでは</p>   | <p>現在、市内には乗合の路線バスとその空白地域を解消するためコミュニティバスが運行しています。路線バスの会社には補助金を交付して協力していただいていますので、既存の路線を継続していただいている箇所と競合しないように配慮しています。コミュニティバスは市で直接委託を行い、利用料金は1区間でも終点まで乗っていただいても100円としていますので、そこは大分市と変わらないと思います。</p> <p>路線バスにしか乗車できない地域については、少し運賃が高くなるというご</p>   |

|   |   |   |
|---|---|---|
|   | ないかと思えます。   | <p>意見は確かにいただいています。その点につきましては、既存の路線バスは継続や存続ということも含めて、補助金で運行している状態ですのでご理解いただきたいと思えます。</p> <p>空白地域の解消という点では、一昨年日足の方で新たに路線を追加しました。まだ路線の追加が必要な箇所などがあれば、地元の方と協議していきたいと考えています。</p>   |
| 6 | <p>歴史の中でいえば、宇佐八幡の玄関口は宇佐駅です。宇佐駅から宇佐神宮に参拝したら、御許神社にお参りするという歴史の文言もありますが、今、観光に来た市外の方はボストンバックを引っ張りながら、10号線を歩いて宇佐神宮に参拝しています。宇佐駅を無視するのではなく、北馬城地区の方が生活しやすいように、乗車しやすいようにしていただきたいと思えます。北馬城地区の私達が便利になれば、観光客のみなさんも多分間違いなく便利になり、1回宇佐駅で降りてみようとか、宇佐八幡に参拝してみようと思うようになるのではないのでしょうか。</p> <p>宇佐駅を中心に便利が悪いのはどうしてか、地域のみなさんにしっかり行政の方から伝えていただきたいと思えます。地元の方が中津に行くのに、月1回は自家用車ではなく宇佐駅を使って電車に乗ってくださいとか、そういった声掛け運動を行うのも一つの方法だと思います。地元は、黙っていたらどんどん衰退していっています。宇佐駅周辺は、40年間何の変化もありません。先日、門前町でサミット会議がありましたが、門前町に何千万も投資するのであれば、宇佐八幡には1,300年の歴史があります。ぜひ税金を有意義に使っていただきたいと思えます。</p> | <p>宇佐駅から宇佐神宮への交通の便が悪いというご意見をいただきました。市としましては12月から、宇佐駅・柳ヶ浦駅・宇佐神宮・市内という風に周遊バスの実証運行を予定しています。この実証運行により、どのような効果があるのか、どのくらいの方に乗っていただけるのかということから検証していきたいと考えています。</p> <p>JRや国土交通省では、駅のバリアフリー化はまず乗降客が3,000人以上ある駅から取り組んでいく方針です。ただエレベーターを設置するだけではなくて、点字ブロック、音声案内、スロープなどの設置がセットになって初めてバリアフリーとなります。それを全部行くと1駅で1億5千万円くらいかかります。柳ヶ浦駅も地道にお願いして実現しましたので、宇佐駅についても関係機関などと協力して訴えていきたいと思えます。</p> |
|   | 周遊バスの運行を計画しているということですが。観光客にどのような形でPRする予定でしょうか。地元の方がコ  | ご指摘のとおり、ただ運行するだけではなくPRすることが重要だと認識していますので、ホームページやパンフレット、広告などにより幅広くPRして   |

|   |   |
|---|---|
| <p>7 ミュニティバスを利用することについては先程の話で納得できると思いますが、観光で宇佐駅に来た人はそういう事を全然知りません。今までも宇佐駅でとりあえず降りて、バスも何もないためひどい目にあっている観光客が多くいます。市もそれを何十年間か無視して来たのに、観光客にどういう形でPRするのか聞かせてください。</p>  | <p>いきたいと考えています。</p>   |
| <p>今、駅周辺にはレンタル自転車がたった2台しかありません。この2台だけでは、他の観光客が来たら利用できません。観光客は、宇佐神宮まで行くのに、今大変困っています。この前、宇佐八幡の商工会に行きましたが、向こうに2台とこちらに2台、北馬城地区に4台しか電気式自転車がありません。家族連れが来て子供が一人でもいたら、子どもは乗せられません。夏休みや冬休みに大学生が来ても、車を持っている大学生は少数です。宇佐八幡の観光にはバスを活用した取り組みが必要だとは思いますが、観光バスだけを誘致して宇佐駅からの導線を完全に無視しているように見えます。近隣のまちタイアップして上手に宇佐駅を活用すれば、まだまだ観光客もたくさん訪れてくれると思います。</p> <p>観光ポスターも、もう少し観光課の方に工夫してもらって、大きく宇佐八幡を印刷するポスターは一世代も二世代も時代遅れなのではないかと感じます。</p> <p>ナンバープレートで宇佐市のPRをしています。原付では宇佐市外に出ることが少ないと思います。他の自治体では、大型トラックで広告しているところもあります。ぜひ、全国ネットで走る広報車を作ってもらって宇佐八幡をPRしてはどうでしょうか。</p> <p>宇佐神宮には昔からお神輿があります。今は消防団の方</p> | <p>今いただいた意見の中で、すぐに出来ることと出来ない事、あるいは行政だけで出来ることと観光協会や商工会議所と連携しなければならないこと。また、地元のみなさんに協力していただかないと出来ないこともありますので、すぐにこの場で何が出来るという返事はできませんが、色々意見を聞かせていただいて出来ることを地域のみなさんと一緒に考えていきたいと思います。</p> <p>宇佐駅の利用者をどうやって増やすかということにつきましては、行政だけがかけ声をかけても地域のみなさんの協力をいただかなければ進みません。利用の促進に向けて、市としても様々な情報発信やお願いを行ってまいりますので、出来ることから地域のみなさんと取り組んでいきたいと考えています。</p> <p>また先程、事業を採択していただくには3,000人という基準があるということを紹介させていただきましたが、数字的にはまだまだ開きがありますのでその点につきましても一緒に取り組んでいただけると有り難いと思います。</p> |

|          |  |  |
|----------|--|--|
| <p>8</p> | <p>が担いでいますが、けんか神輿とってこの付近の商売人が全員休んで宇佐神宮のお神輿を担いだ素晴らしい時期もありました。市でインターネットによる担ぎ手の若者を募集するとか、色々な方法で戸畑祇園山笠にも負けないようなお祭りがまだまだできるのではないかと思います。ぜひ、宇佐八幡のお祭りはもう少し市としても市外にPRしていただきたいと思います。</p> <p>また、地元の商工会に移管するのではなく行政がもう少し一緒になって取り組んでもらえないでしょうか。商工会のこれまでの取り組み方では、市外にPRするのは多分もう無理です。だから今のようなお祭りになっています。ぜひ宇佐八幡のお祭りを市の協力の中で大きなイベントに復活してください。</p> <p>北馬城地区には宇佐八幡だけではなく歴史的な話がたくさん残っています。観光まちづくり課や観光協会、商工会議所など、いろんな所にもう少し目配りしていただいて、地域にある点と点を結んでいただくのが行政ではないかと思います。</p> <p>宇佐駅をみんなで使ってくださいという目標は決まっているので、中津に行くときは月に1回でもいいから宇佐駅から電車で行ってもらいたいと行政からもお願いすれば、この地区のみなさんは宇佐駅を利用しなければエレベーターも何も整備されないことに気づいて素直に協力してくれると思います。お互いに行政と地元がタイアップしながら話を進めていって、便利な宇佐駅、観光の宇佐駅にしたいと思います。</p> |  |
|          | <p>農業関係で中間管理機構についてお聞きします。これに集約がどれだけできているのでしょうか。国の情報を見る</p>   | <p>中間管理機構についてですが、市の取り組みとしては全国より若干遅れています。蜷木地区が県のモデル地区になっていて、中間管理機構の事業を活用し</p> |

|    |  |  |
|----|--|--|
| 9  | <p>と20%くらいと公表されています。宇佐市の現状はどのようなになっているのか、これから先の見通しはどうか、市として農業の先行きをどう考えているのか分かれば教えてください。</p>  | <p>て農地集積を図る計画になっています。</p> <p>市全体の中でいいますと集落ごと。集落で担い手が見つけれない地域については、集落をまたいだ形で「人・農地プラン」というものを策定しています。「人・農地プラン」は、どれだけの農地がその集落にあって、営農者が何人いて、現状がどのようなになっているのかをまず把握します。その中で将来的に農地を手放したい人がどういう方で、どういう人が担い手となっていただけのかということを集落とか集落をまたいだ形で作っているものです。今後は、それに基づいて中間管理機構を使って農地の集積を図っていく計画です。具体的には、水田で言いますと川部地区で県営の圃場整備事業が動いています。その中では、担い手として法人が1つと若い方が1人で農地を集積していこうという計画に基づいて事業が進んでいます。</p> <p>また、安心院地域の樹園地におきましては耕作放棄地がかなり増えてきているのですが、土地を所有している方の意向を確認して手放す方については中間管理機構や農業公社を通じた売買を行い、例えばワインを作っている企業に耕作していただくといった取り組みを進めていきたいと考えています。</p> |
| 10 | <p>地方創生が叫ばれている時代ですが、田舎には満天の星空があります、自然も豊かです。しかし、高齢化率は非常に高くなっています。そのため介護施設だとか老人施設なども含めそれぞれ単独ではなくて、そこに勤める人もその近くに家を構えることができる総合的な施設の誘致ができませんでしょうか。</p> <p>どこかで取り組んでいる事例もあると思いますが、その施設を通してそこに若い人たちが集まってきます。単独の収入源だけではなかなか難しいので、色々な収入源を確保する必要があると思いますが、地方創生を実現するために何らかの方向性を市として示しているのでしょうか。</p> | <p>現在、「まち・ひと・しごと」創生の総合戦略ということで市としましても、この10月に4つの目標を柱に様々な施策を具体的に策定しました。総合戦略の中では、安定した雇用をつくるとか、若い人の希望がかなえられるような結婚・出産・子育てそういった施策を行って新しい人の流れをつくる、最後に地域をつくり地域と地域を連携することで、まちのコンパクト化や公共交通を観光的なものと連携するような交通網を上手く整備していくという項目などをあげています。ただ具体的に、どの地域を新たに推進していくというような計画には至っていません。</p> <p>人口ビジョンでは、宇佐市の人口は今後57,000人から30,000人程になるという推計があります。このように推計されている人口の減少を抑制するため、様々な施策を総動員して取り組みを進めていきたいと考えています。</p>  |
|    | <p>私は、太陽光発電についてあまり関心がなかったのですが、現地を見てびっくりしました。現状は、斜面にブルー</p>   | <p>日足のメガソーラーにつきましては、みなさんご存じのとおり業者が勝手に開発を行っていたため指導が行われ、現在事業は止まりブルーシートが貼られ</p>   |

|    |  |  |
|----|--|--|
| 11 | <p>シートを貼ったままの状態です。太陽光はエネルギーを生み出しますが、植物の代わりはできません。極端にいうと山一面にああいったパネルを貼って良いのか疑問に思います。植物による二酸化炭素の吸収は落ちていきます。今から先、売電だけではなくて、例えば水素を燃料化していくこともできるようになるかもしれません。そうすると発電事業として成り立つときに、早くその辺の方向性を持っていないと差がつくだけになると思います。</p>   | <p>ています。今、開発の状況がどうなっているのかといいますと、当初考えていた開発に伴う調整地についてはできないということで変更の計画を地元にも多分示されていると思います。例えば、調整地から水を流す水路が誰の持ち物なのかということが分からない状況になっています。地区の皆さんには6月頃に説明会などがあったと思いますが、そこから話は進んでいないという風に認識しています。</p>   |
| 12 | <p>定住促進のための施策は今後どんどん進んでいくと思います。その中で、空き家は大きな問題ではないかと感じています。資料では大分成功しているところもあるようですが、私の地域ではどんどん空き家が増えています。そこに住もうと考える人がその土地を気に入って、はじめて転居を考えるのだと思います。うまく取り組みが進んでいる地域もあるでしょうから、そのような事例について情報を提供していただくと、私達もそれを参考にして支援を行っていきたいと考えています。ぜひ、そのような成功例について教えてください。</p> <p>また、市の目標としては1年に何人ずつだとか、10年後に200件の定住者を誘致するだとか、目標を持っていないと、今年は何人転入しました、また来年は何人転入しましたでは、なかなか本当の活性化はして行かないと思います。市でしっかり目標を持って取り組みを行ってほしいと思います。</p> | <p>今年から定住支援員という空き家の案内などの業務を行っていただく方を2名雇用しています。1名は地域おこし協力隊で実際に都会の方からこちらに来て、3年住の雇用期間が終わった後に協力していただいています。もう1名は、奥さんがもともと宇佐市出身の方だったのですが、旦那さんと一緒に東京から移り住んでいます。その方も安心院に10年くらい住んでいる方です。そういう、実際によそから転入した方に空き家の案内などの業務をお願いしていますので、その方たちがまさに成功例だと考えています。空き家の問合せをいただいた方を、その方たちが案内していますので良い参考になっているのではないかと考えています。</p> <p>また、今年から様々な改修の補助事業を実施していますが、それについては空き家バンクという空き家を登録するサイトを作成しています。例えば、家賃がいくらであるとか、居住するための条件だとかを登録していただいた空き家について、補助を用意しています。空き家バンクに登録すれば色々マッチングができます。空き家をお持ちの方、あるいは知り合いの方が空き家をお持ちの方がいらっしゃれば、ぜひ観光まちづくり課に問い合わせさせていただきたいと思います。</p> <p>実際に目標を年間どのくらいに定めるのかというのはなかなか難しいので、できるだけ間口を広げて問い合わせを増やしていきたいと考えています。</p> |
|    | <p>昨年、住みやすいまちとして宇佐市が1位に選ばれ、今年には12位であったと先程紹介がありました。1番だとか</p>  | <p>決め方は毎年若干違うのですが、雑誌社が住みやすい指標というもの何項目か用意しています。それを自治体の移住の担当者が回答して、優れた項目が</p>  |

|    |   |  |
|----|---|--|
| 13 | <p>12番というのはどのような選定方法で決められるのでしょうか。</p>   | <p>いくつあるかというということで決まっています。その調査項目が年度によって若干変わったりしますので、それによって順位の変動があります。今年は110項目くらいあって、担当者が自分の市町村に該当するかないかなどチェックを行って雑誌社に送りました。その調査票を基に雑誌社がランク付けを行っています。</p> <p>調査項目についてですが、定住に関する市の施策については高評価になっています。それ以外に、例えば名水や重要な文化財、国定公園のような山などの有無、そういった色々な要件を絡めて雑誌社が評価を行っています。</p>   |
| 14 | <p>先日、戸畑祇園大山笠を見学しました。私は宇佐のお神輿しか知りませんでした。今回の戸畑祇園山笠を見学して本当に驚きました。わざわざ戸畑地区から子どもから大人まで1,000人前後の方が法被を着て山笠を担いでいる活気は、まだまだ宇佐神宮のお祭りの取り組みは間違っているなど、市民の一人として感じました。</p> <p>あのくらいの規模になるとお客さんの見学も経済効果も大きいと思います。今回残念なことに、山笠が来るという情報を市から提供されたのが前日の大分合同新聞のチラシでした。市民のみなさんは、戸畑から山笠が来るというのを知らなかったと思います。ああいった大きなイベントは早めにお知らせをして、宇佐神宮に見に来てくださいという形を採らないと、戸畑の方に申し訳ないと思います。</p> | <p>今回の戸畑祇園大山笠の運行は、宇佐神宮で行われる勅祭の奉祝奉納ということと合併10周年の記念行事という位置づけでした。これまで、1基、2基という数では伊勢神宮などに行ったことはあるそうですが、今回のように4基の山笠が戸畑を出てくるということは、初めてだったそうです。そのため具体的に宇佐神宮の境内をどう練り歩くのかということも含めて、直前まで案が固まらなかったという点があります。そういった非常に稀な取り組みであったことがPRの遅れた理由です。</p> <p>広報紙やホームページ上では事前にお知らせはしていましたが、みなさんの目に止まったのは大分合同新聞のチラシだったというご意見でした。めったにない催しでしたので、もっと多くの方に見ていただければよかったのですが、情報の発信については十分ではなかったかもしれませんが、ぎりぎりの時点で広報は行えたと思っています。</p> |